

中東時事アップデート 2019年5月25日

アミール・ツアルファティ

- 欧州連合議会の選挙、シリア情勢、ペルシャ湾、その他 -

https://youtu.be/NWh-Lq_N8GI

これから、いくつかのことについてお話をします。まず初めは、ペルシャ湾の状況です。

“あれからどうなったのか。停滞しているのだろうか？”と皆さんの多くが気になっているでしょう。先週は、アメリカの空母やB-52（戦略爆撃機）、B-2（ステルス戦略爆撃機）についてお話をしました。また、国全体の軍隊にほぼ匹敵するほどのものが、現在、ペルシャ湾に向かっていているということについてもお話ししました。ただ、この2～3日の間に、さらに多くの情報が収集できたのですが、これほど大規模な形でアメリカ軍が配備された理由です。すべては2週間ほど前に遡って、イスラエルがアメリカに、ある写真を明らかにしました。イラクのバスラという町の真横に、アメリカの標的に向けて設置された弾道ミサイルを写した写真です。さて、皆さん全員がご存じの通り、アメリカは人工衛星を持っています。イスラエルも人工衛星を持っています。ですから、この手の航空写真は、簡単に入手できます。しかし、イスラエルが提供したのはミサイルの写真で、その写真を撮っている人物の写真です。言い換えれば、そこから分かることは、我々には、その基地の中でカメラを取り出して、写真を撮ることのできる人間がいる、ということ。そして、イラン人たちが、自分たちの高官の中に“モグラ”（内通者）がいることに気づいたとき、彼らはとても恐れまりました。ところでアメリカは、直ちにこれらの軍隊を配備し、ただちにイランは、彼らの計画を中断しなければなりませんでした。

いま、彼らは多くの試みをしています。サウジアラビアのパイプライン沿いの標的を狙うために、彼らはドローンを送っていて、さらにどんどん弾道ミサイルをリヤドやメッカ、その他のアラビア半島にある都市に発射し始めています。彼らは、周辺一帯の代理に活動させようとしています。しかしながら、アメリカの標的を攻撃しようとしたイランの残忍な計画のメインは中断され、阻止されました。写真のおかげです。リアルタイムの写真が、イスラエルのモサド（イスラエルの諜報機関）から、アメリカの諜報機関に提供されたから。そのためにポンペオ（米国務長官）はバグダッドに直行して、イラク政府に情報を伝えなければならなかったのです。彼らの鼻先のバスラという町にロケットが移動、配備され、アメリカとイラクの標的に向けられていることを。このため、すべてのことが早急に行われたのです。それ以来、他のことに関する情報がどんどん入ってきていて、事実、昨日、国務省が発表しています。これは非常に特異なことで、彼らが発表した声明の中で、こう言いました。「先週起きた石油タンカーへの攻撃に対する責任は、イランにある」通常、このように告げる時というのは、基本的に「その対価を払え」と言っているのです。「だれが行ったのか分からない」と言う時は、応答しない余地を与えますが、いったん、このように言うなら、応答しなければならないことを意味します。

さて、イランの（発言の）トーンはどんどん高くなり、凶暴になって来ています。事実、昨日、イラン革命防衛隊の指導者のひとりが、こう言いました。「イランが所有している秘密兵器によって、アメリカの船を撃沈することができる」ととても興味深いのは、彼らは語り、舌戦はどんどん緊張が高まり、どんどん激しくなっていますが、それは、彼らが外交的解決を求めているためであることが分かります。そして、私たちがすでに耳にしているのは、議員、たしかダイアナ・ファインスタイン議員が、イランの外務大臣ザリーフと食事をしたということが分かっています。これは当然、アメリカ政府が承認しない限り、実現しません。ですから、現在イランは、アメリカと話をしたことで非難されていて、多くのことがあちらで起こっています。イランは自分たちが高く上りすぎて、その木から降りるための“はしご”を見つけなければならないことを理解しています。そして私たちは、実際に起こっていることを目にしています。原油価格が現在、\$60以下まで下落しています。先週は\$71でした。それがいまは\$60以下です。もちろん、そのことがアメリカ市場

とアメリカの石油の強さを示しています。なぜなら、イランが石油の輸出ができない限り、必要な場所のどこへでも、アメリカは石油の輸出が可能ですから。現在、アメリカは一日に1200万バレルを売り、もしくは得ることが可能です。それに対して、イランが今の時点で可能なのは、50万バレルです。

さて、あれ以来、他に二つのことが起こっています。ロシアは現在、大きなジレンマに陥っています。彼らは、シリアの戦争が終わったと思ったのです。彼らが思っていたのは、今の時点で戦争が終結。次にシリアが回復されるために国々が資金をつぎ込み、自分たちは当然、おいしい契約にあずかれると思っていたのです。ところがそれが間違いであったことが証明されました。実際には、シリア全土に新しく炎上中の地域があるのです。その大半は北部の飛び地であるイドリブで、12のトルコの軍隊が一带に配備されています。あちらにはクルドの駐留もいくつかあって、それからもちろんバシール・アサドの軍隊、ロシア軍、イラン/シリア派民兵の勢力もいて、皆が、あちらにいます。トルコはスンニ派を支援し、イランはシーア派を支援して、そしてロシアは何とか把握しようとしています。「いったいどうすれば、この暴力を止めることができるのだ?!」ロシアは、あちらでこの暴力を増大させるつもりはありませんでしたが、スンニ派の反政府勢力が、爆発物を積んだドローンを地中海沿岸のフメイムにある、彼らの海軍基地に向けて送り始めて、そのことがロシアを激怒させました。そのため、彼らは、ドローンが発射されたこの2つの都市に対する軍事攻撃を決意し、空と地上からの破壊を開始してから5日後に、支配することに成功しました。しかしその前に、何十ものバシール・アサドの軍隊が、これらの民兵によって殺害されました。ですから私たちは、あちらでシリアの戦争が終わりからほど遠いを目にしています。

次に皆さん、ヨーロッパまで出航しましょう。皆さんがご存じの通り、私はずっと言ってきましたが、今の時点でヨーロッパは、狂った革新的なリベラルの”ポリティカルコレクト”(政治的妥当性：性別・人種・民族・宗教などに基づく差別・偏見を防ぐ目的で、政治的・社会的に公正・中立な言葉や表現を使用すること)の策略によって運営されていて、現在の欧州議会とその議員によって運営されています。今日から始まって、来週にかけて欧州連合のメンバーである28か国で選挙が行われます。そして今回、右派が大勝利することが明白です。なぜなら、左派である革新的リベラルは、大きな間違いであることが証明されていますから。彼らの政策全体が崩壊しています。そのため、オランダの右派ヘルト・ウィルダース、英国のナイジェル・ファラージ、フランスのマリーヌ・ル・ペン、ハンガリーのオルバーン・ヴィクトル、そのほか、彼らがどんどん多くの支持を得ているのです。信じがたいかもしれませんが、あの有名なドナルド・トランプの顧問のステーブ・バノンが、はるばるヨーロッパまで行って、あちらの保守派政党に言ったのです。「成功したいなら、団結しなければならぬ」そして、つい最近、彼ら全員がミラノに集まって、すべてのエリートたちと戦うこと、それから基本的には、完全に新しいヨーロッパを創り出すことを決断しました。

ところで、これはイスラエルに対して、とても友好的になると私は信じています。初めは…。間違えてはいけませんよ。私は何度も言いましたし、今でも、これがシナリオだと信じています。私は、反キリストが西ヨーロッパから出ると信じています。私が心から信じているのは、反キリストが興った時点では、彼は実際に、イスラエルの友のように見えるでしょう。彼はイスラエルに平和をもたらします。彼はイスラエル人がエルサレムに神殿を建築することを認めます。これらすべてが起こります。これは、ヨーロッパが激しい反イスラエル主義で、ヨーロッパが我々に激しく敵対しているうちは起こり得ません。「2つの人種のための2つの国家」パレスチナ人にパレスチナ、イスラエル人にイスラエルという計画全体が、この20年の間、うまくいっていません。事実、ドナルド・トランプは、もうすぐバーレーンで国際会議を開催しますが、これは経済フォーラムで、そこで彼は「繁栄のための平和」を呼びかけます。興味深いと思いませんか？聖書は、彼らが「平和だ、安全だ」と言うことを告げています。これは「繁栄のための平和」です。

基本的に、アメリカの政権が希望しているのは、中東の平和への異なるルートを設けることです。もはや「二国」や「エルサレム」、「難民」について語らず、パレスチナ人の「良い暮らし」について語ろう。いかにして彼らが貧困から脱し、みじめな状況から脱するのを助けるか、ということについて話し合おう。西岸地区とガザに資金を投資して、多くの仕事や何かを生み出そう。その他のことを語るのはやめよう。それらはうまくいかないから。それは、この20年以上、膠着状態だ。

パレスチナは、すでにバーレーンの集会に行かないことを発表しています。つまり、またしても彼らは、「機会を逃す機会を、絶対に逃さない」のです。イスラエルは人を送ります。サウジアラビアも参加すると言い、カタールも参加します。アラブ首長国連邦も参加します。バーレーンも参加します。オマーンも参加します。問題は、いま、パレスチナはほとんどのアラブ諸国が立っている位置の反対側に立っていることです。これはトランプ大統領が大成功した点で、彼は非常に多くのスンニ派アラブ諸国をまとめました。そして言いました。「二国解決策について話すのはやめよう。それは20年以上もうまくいっていないのだ。この和平プロセスを、経済的な部分から始めよう」ただ、先ほども言ったように、これが非常に興味深いのは、皆さん全員に言いましたが、私はドナルド・トランプが中東に平和をもたらすことができるとは信じていません。パレスチナがそれをさせないと、私は信じています。ただ、さらに私が信じているのは、彼の貢献は二国解決策を交渉のテーブルから根絶したことです。その考え方を取り除きました。私たちは、もう、それについては話しません。そしてエルサレムをイスラエルの首都として承認したこと、それからゴラン高原の承認です。皆さん、あちらですよ。あの光が見えますか？あれがゴラン高原です。あの部分が、今やアメリカ合衆国によって、イスラエルが主権を握る場所として認められたのです。つまり、何らかの対立があるとすれば、それはパレスチナとイスラエルの間ではありません。パレスチナとイスラエルの対立に関しては、いま、興味のずっと下のレベルにまで引き下げられました。いま、私たちにはシリアの問題があり、イランの問題があり、ヨーロッパ中で問題があり、中国とアメリカの間で、ものすごい貿易戦争が起こっています。現在、いちばん人の頭にはないのは、イスラエル対パレスチナ紛争です。これは驚くべき事です。

次にイスラエルに敵対して起こる戦争は、パレスチナとは全く関係がありません。西岸地区やガザとの国境とは、全く関係がありません。聖書は3つのことを予告しています。

1. 戦争は北から起こる。
2. 戦争はロシアが率いて、イラン、トルコ、それとアフリカの2つのイスラム諸国と共に行われる。
3. これは最も重要なことで、戦争は経済的なものであるということ。
物を分捕るため、獲物をかすめ奪うためだと聖書は告げています。

そこでこれら3つのために必要なのは、

1. 北での対立。：これはあります。
2. 我々（イスラエル）の国境における、ロシア、イランの駐留。：これもあります。
3. その時点で、著しいイスラエルの繁栄。
そして「パレスチナ問題など、他の問題については語るのをやめよう」：これも、いま、起こっています。

イスラエルは、これまでの歴史上、現在ほど繁栄したことがありません。ですから、来たるエゼキエル戦争の条件のすべて、北から起こることなど、すべてがすでにあり、どれひとつとしてイスラエルとパレスチナの古い対立とは一切関係がありません。そして、これまでイスラエルに対して激しくとらわれて、パレスチナに対して超友好的だったヨーロッパに、現在何が起こっていると思いますか？来週に迫っている選挙で、ヨーロッパもまた、完全に変わります。そして、異なるタイプの中東の解決策に賛成する大陸となります。

次に最大の謎は、一体全体、どのようにしてアメリカは、イスラエルのための終末のシナリオの方程式からはずれるのか？なぜなら、仮にあるとすれば、アメリカはこの戦争を批判するだけで、積極的には関わらない国です。そこで疑問は、「何なのか？」「何が起こるのか？」これは私には、どう予測してよいか分かりません。経済の崩壊なのか、自然大災害なのか、何らかの戦争が起こるのか。私にはわかりません。実際、私は知ろうともしません。私は預言者ではありませんから。私はNon-Profit/Prophet（非・営利/預言者）団体の人間です。ただ、ひとつ私に分かっていることは、イスラエルは孤立するという事。そして、他でもなく、神が私たちに代わってご介入され、奇跡的に敵を打ち負かされるということ。通常の手段によってではなく、私たちの武器によるのでもなく、神のやり方で、まず巨大地震を起こし、それから上からもの

が降ってきます。非常に興味深いことになります。イスラエルを含むどの国も、このことのために榮譽を受けることは絶対にできません。それまでです。

皆さん、これですべてです。ヨーロッパの状況、ペルシャ湾の状況、シリアの状況。ロシア、トルコ、イラン、すべてがあちらの大量殺戮に関わっています。それでいてイスラエルの繁栄は継続していて、この四半期は3.5%以上でした。これが向上する一方で、私たちは継続して、さらなる石油、さらなるガスを発見しています。イスラエルは、とても良い状態です。

さて、イスラエルの政治的状況ですが、選挙の後、ネタニヤフが過半数を得て、政府を結成する権限が与えられました。彼は、いくつかの政党との間に問題を抱えていて、彼らはできる限り多くを得ようとしています。政府を結成する期限が2日後に迫っていて、もし彼がそれまでに結成できなければ、最後に一度、さらに21日の間、再度、挑戦のチャンスがあります。もし、それでできなければ、信じがたいですが、イスラエルは9月にもう一度、選挙を行わなければなりません。私たちは、そうならないことを願っていますが、現在、交渉の台に乗っています。

イスラエルの友に、新たな大勝利です。インドの首相、ナレンドラ・モディが、あらゆる敵を押し切って、選挙に勝利しました。あちらの革新的リベラル政党は55議席に減少したのに対して、彼らの政党は、議会で260議席以上を獲得しました。もうひとつの大きな奇蹟は、オーストラリアのスコット・モリソン首相です。彼が勝利する確率は、全くありませんでした。彼はクリスチャン、信者で、イスラエルを愛し、また、エルサレムが私たちの首都であることを認識しています。しかし、彼はシークレットサービス(秘密情報機関)が提示した、あらゆるシナリオを恐れるあまり、大使館を移動することができませんでした。しかしスコット・モリソンが、あらゆる敵を倒して、再び当選したのです。事実、オーストラリアから私の所にどんどん情報が入ってきていますが、クリスチャンの大きな後押しがあって、彼らは、より大胆に信仰告白しているそうです。そして、どんどん無神論者たちが、「何が起こったんだ？」と自問し始めているとのこと。まさにネタニヤフが敗戦するとか、トランプが敗戦するといった、あらゆるすべての予測が間違いであったことが証明されたのと同様です。なぜならメディアが…、私は彼らを“ミデヤン人”と呼んでいます。彼らは、いつもリベラルの味方をして、絶対に保守派の味方をしないで、間違いを犯します。ですから、オーストラリアでの素晴らしいニュース、インドでの素晴らしいニュースです。

それから、これから起こると私たちが信じている、欧州連合議会の素晴らしいニュース。異なる人々が、欧州連合の鍵となるポジションに就くのを、私たちは目にするでしょう。たとえば、欧州連合の外交代表は、現在、社会主義、共産主義のイタリア人女性モグリーニですが、別の人になるでしょう。すべての他の任務も保守派の人物が就き、イスラエルに関しても、現在のメンバーとは、はるかに異なる視点を持つ人物が配置されるのを目にすることになるでしょう。ですから現在、素晴らしいニュースがヨーロッパで起こり始めていて、オーストラリアと、今度はインドで、奇蹟の勝利の素晴らしいニュースです。しかし、先ほども言ったとおり、中東に関しては、地平線の向こう、北からの暗雲が、どんどん近づいています。私たちは確実に、パレスチナ対イスラエル問題がおさまるのを目にします。ひとつに、もはやだれも彼らのために戦わないことを、彼らは理解していますから。ふたつに、彼らはまた、皆が彼らのことを「ハッター」と呼んでいることを理解しています。つまり、「『パレスチナ国家なんてものはない』ということ、自分も認めなければならない」と。彼らは知っていると、私は思います。そして、私たちは知っています。しかし、そろそろ世界にそれを知らせる時です。彼らは少し恥ずかしいのだと、私は思います。皆にそれがバシタから。もう、それまでです。これは、でっち上げられた国で、彼ら全員の間で共通のものはなにひとつないことを、彼らが示しています。だから、彼らは絶えず争っているのです。シリア、レバノン、イラク、アルジェリアからのアラブ人。彼らは、周辺のあらゆる国からはるばる、当時“パレスチナ”と呼ばれていた地までやって来たのです。彼らはパレスチナ人ではなく、アラブ人です。彼らが、“パレスチナ人”と呼ばれるようになったのは、“パレスチナ”と呼ばれていたからです。あの地では、ユダヤ人でさえ“パレスチナ人”と呼ばれていたのです。あの地が、“パレスチナ”と呼ばれていたから。“パレスチナ”は、ムスリムともアラブとも、一切関係がありません。これは、ローマ皇帝ハドリアヌスによって、西暦135年につけられた名前です。彼は“ペリシテ人”の名にちなんでつけたのです。アラブ人とは、全く関係ありません。もちろん彼らは相続を主張していますが、

そんなものはありません。彼らはエルサレムを欲しがりますが、興味深いことに、ユダヤ人が故国に戻ってくるまで、彼らはエルサレムには全く関心がありませんでした。私に言えるのは、その時代は終わったということ。

エルサレムは、今、イスラエルの首都で、大使館は、イスラエルの首都に戻っていています。問題はエルサレムがどうかということではなく、神殿がいつ建つのかということです。そして、そのためには大戦争が起きなければなりません。ヨーロッパは、反キリストを提供しなければなりません。彼が一時的に偽の平和をもたらし、ユダヤ人が神殿を建てることを認め、後に、彼らがすべてやり終えたと考えた時に、彼が神殿に入り、自分が神であると宣言します。第2テサロニケ2章が告げているとおり、神の神殿で、彼自身が神であると宣言するのです。そのときユダヤ人たちは、自分たちがこの男をメシアだと考え、大きな間違いを犯したことを理解して、逃げます。そして聖書は、主が、彼らのための場所を備えると告げています。これは黙示録12章。荒野に彼らのための場所が、1260日間、備えられます。これは聖書の暦でちょうど3年半です。そして、それから主が来られます。聖書が告げているのは、主はイスラエルのための場所を備えるだけでなく、この3年半の間の彼らの必要を、すべて満たされます。神はイスラエルに計画を持っておられ、神はイスラエルを見捨てておられません。私たちは今、ツアーの皆さんとここにおいて、これから2~3日の間、これについてたくさん語ります。ただ、皆さんはダマスカスと、北に目を向けておいてください。ヨーロッパで起こっていることに目を向けておいてください。イスラエル国内で起こっていること、エルサレム内で起こっていることに、目を向けておいてください。

さて、話すべきことは、すべてまとめたと思います。数日前に亡くなった、ビホールド・イスラエルの親愛なる友に、敬意を示したいと思います。ジョン・アレン氏は、私たちのミニストリーの親愛なる友で、私たちと共にイスラエルを数回訪れました。若者に心を砕き、数人の若者に資金援助をしてくださいました。彼はまた、若者たちの付き添いをするために、ご友人にも資金援助までしてくださいました。ジョン氏は、数年間、ガンと闘っておられ、数日前に天に召されて、主と共にいます。ジョン氏について、次の聖句をお伝えしたいと思います。私は、フェイスブックにもこれを投稿しています。

ジョン。あなたは、確実に勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が、あなたのために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それをあなたに授けてくださるのです。あなただけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。（第2テモテ4章7節から8節）

主の現れを慕っているなら、私たち全員にです。ところで、「主の現れ」とは、イエスが空に現れることで、イエスの来られることではありません。イエスが統治するためにここに来るのは、「現れ」ではありません。それは「再臨」です。「現れ」は携拳が起こる時で、主の現れを慕っている者、待ち望んでいる者、彼が花嫁すべてを迎えに来られるのを待ち望んでいる者、これらの者が取り去られるのです。分かりますね？そして、この栄冠を授かるかどうかは、その行いがどのように証明されるかによって決まります。その行いは良かったか、それとも火で焼き尽くされるか。皆さんに言うておきますが、私たちが次のことを理解しておくのは、重要です。私たちが、主と共に行くことにワクワクしている必要があるのと同じくらい、私たちは、主の前に立たなければならないことを忘れてはいけません。その時、キリストの裁きの御座があって、私たちのすべての行いが明らかにされます。すべての動機、すべての人との関係、すべてです。私たちが何かを行ったかだけでなく、どのように行ったか、どんな方法で行ったか。これを私たちは覚えておかなければなりません。

そしてジョン、あなたは、私にひとつ言えるのは、あなたはすでにキリストと共にいます。また私は、あなたの動機を知っていますし、あなたが、どのようにそれを行ったのかを知っています。そして義の栄冠が、あなたを待ち受けていることを私は知っています。それも、あなただけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。素晴らしいのは、あなたがここにいる間に知り合えたこと。そしてジョン、あちらの天国でもまた、私たちの関係は続きます。あなたは今、ずっと良い場所にいます。もう

苦しみも痛みもない。素敵なことです。私たちは、あなたと一緒に喜び、また、あなたに会いたくて寂しい思いをしている、あなたのご家族と共に悲しみます。そして、私たちには希望があることを、主に感謝します。聖書は、パウロがテサロニケの人たちに書いた手紙の中で告げています。第1テサロニケ4章で、彼は、彼らの中で人が死に始めたことに対する彼らの反応に関して、次のように告げています。

眠った人々のことについては、兄弟たち、あなたがたに知らないでいてもらいたくありません。

それから見てください。第1テサロニケ4章で、聖書はこのように告げています。

眠った人々のことについては、兄弟たち、あなたがたに知らないでいてもらいたくありません。あなたがたが他の望みのない人々のように悲しみに沈むことのないためです。(第1テサロニケ4章13節)

皆さんには、永遠のいのちに対する希望があるのです。「あなたがたが他の望みのない人々のように悲しみに沈むことのないように」

私たちは、イエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスといっしょに連れて来られるはずです。(第1テサロニケ4章14節)

イエスが来られて、私たちと会う時、死んだ人の霊は、聖書ではこう言っています。

肉体を離れて、主のみもとにいる。(第2コリント5章8節)

私たちは死んだ瞬間に、体はここに残りますが、霊はイエスのみもとにいるのです。そして、主が戻って来られる時に、彼は、主のみもとに行ったすべての人の霊と共に戻って来られ、彼らは栄光の体と再会するのです。なぜなら、『キリストにある死者が、まず初めによみがえり』と、聖書が告げていますから。そして彼らが、どのようにしてよみがえるのかということは、第1コリント15章51節以降で告げています。

朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。(第1コリント15章50節)

私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠ってしまうのではなく、みな変えられるのです。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。(第1コリント15章51節から52節)

なぜなら、この体は絶対に絶対に天国に行くことができませんから。朽ちない身体をまとわなければ行けません。ところで、皆さんは現在、重力の影響を受けています。それは分かりますね。だから、皆さんは飛べないのです。しかし栄光の体を得た瞬間に、私たちはここを出て行きます。違う体、栄光の体ですから。ですから、主は眠った人たちのたましいと共に来られ、彼らは皆、栄光の体と再会して、それから私たちは、永遠の永遠に主と一緒にいます。だからジョン、またお会いしましょう。ここにいる私たちには、皆、希望があります。ですから、希望のない人たちのように悲しまないでください。アーメン？皆さん全員に感謝します。

オーストラリアのパースと、メルボルン、ニュージーランドのオークランドでの「Awaiting His Return」の登録受付を開始しました。BeholdIsrael.orgより、ぜひご登録ください。来月はフランスのツールーズを訪れます。それから、インドネシアも訪れます。世界最大のムスリム諸国、スラバヤとバリの両方で、聖徒の皆さんに神の御言葉を教えます。それとももちろん、オーストラリアとニュージーランドの聖徒の皆さんにも。ビホールド イスラエルで、たくさんの方がすでに起こっていますが、これからも、たくさんの方を行います。私たちはキリストの体を、主の来臨に備えなければならないと信じています。そしてまた、信じていない人達には、キリストが、すぐに来られるという良い知らせを伝えなければなりません。希望はありません。これで終わりではありません。これは神の御国ではありません。これよりも、はるかに素晴らしい事が

私たちを待ち構えています。

目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。(第1コリント2章9節)

私たちが周りで見ているこれは、神の御国ではありません。だから私たちは、「御国が来ますように」と祈るのです。まだ、ここに来ていないから。もちろん、イエスが私たちと一緒に戻って来て、この地上を千年間、統治される時には、私たちが本当に望むものに、ぐんと近づきます。それでも、主がすべてを新しくされるまで、それはありません。新しい天と、新しい地。新しいエルサレムが来た時に、私たちは、ようやくすべてが主と一緒にになります。一切、じゃまもなく、一切、サタンが存在もなく、一切、悪霊の存在もなく、非信者の存在すらありません。では、アロンの祝福で締めくくりたいと思います。

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/ヘブル語)**

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/英語)**

全ての理解を超える平安、唯一、平和の主である、平和の君にだけ与える事の出来る平安が、今よりとこしえに、ここでも、どこでも与えられますように。私達の救い、イエスの御名によって祈ります。

アーメン！アーメン！

数週間後に、2020年のツアー日程を発表しますので、参加ご希望の方は、ぜひお申し込みください。バスの座席に限りがあるので、どうぞ、この機会をお見逃しなく。ただ地を見るだけでなく、聖書を開いて数々の場所を訪れ、現地で御言葉を学んで、差し迫るキリストの来臨を喜びます。

ありがとうございます。God bless you!
ガリラヤ湖より、シャローム！
さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.06.02 (Sat)
